



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 名

上場会社名 日華化学株式会社
 コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 江守 康昌
 (氏名) 林 幸照
 配当支払開始予定日

TEL 0776-24-0213
 平成25年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	22,963	—	1,871	—	2,062	—	1,737	—
25年3月期第2四半期	15,817	2.1	836	37.2	831	42.2	667	118.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 3,341百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 900百万円 (104.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	98.74	—
25年3月期第2四半期	37.93	—

当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これに伴い、平成25年12月期第2四半期は、当社及び3月決算であった連結子会社につきましては平成25年4月1日から平成25年9月30日の6ヶ月間を、従来からの12月決算の連結子会社等につきましては平成25年1月1日から平成25年9月30日の9ヶ月間を連結対象期間としております。このため、対前年同四半期増減率は記載していません。

[参考]

12月決算の連結子会社等の連結対象期間を9ヶ月(平成24年1月1日から平成24年9月30日)とした前第2四半期業績に対する当第2四半期業績の増減率は、売上高22.3%、営業利益100.9%、経常利益116.0%、四半期純利益130.9%であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	37,662	17,213	39.2	839.58
25年3月期	37,095	13,982	32.7	689.68

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 14,772百万円 25年3月期 12,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
25年12月期	—	6.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	—	2,500	—	2,700	—	2,150	—	122.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当連結会計年度は、当社及び3月決算であった連結子会社につきましては平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヶ月間を、従来からの12月決算の連結子会社等につきましては平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。このため、対前期増減率は記載していません。

[参考]

当社及び3月決算であった連結子会社の平成24年4月1日から平成24年12月31日の9ヶ月間、従来からの12月決算の連結子会社等の平成24年1月1日から平成24年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間とした業績に対する平成25年12月期通期連結業績予想の増減率は、売上高20.0%、営業利益58.4%、経常利益60.0%、当期純利益87.9%であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	17,710,000 株	25年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	114,434 株	25年3月期	112,174 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	17,597,000 株	25年3月期2Q	17,599,734 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は決算期変更により、当社及び3月決算であった連結子会社は4月から9月の6ヶ月間を、12月決算の連結子会社等は1月から9月の9ヶ月間を連結対象期間としております。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成25年12月期第2四半期連結累計期間	22,963	1,871	2,062	1,737
(参考) 前年同一期間 ※	18,780	931	955	752
調整後増減率 ※	22.3%	100.9%	116.0%	130.9%
平成25年3月期第2四半期連結累計期間	15,817	836	831	667

※「前年同一期間」の金額は、12月決算の連結子会社等の連結対象期間を9ヶ月（平成24年1月1日から平成24年9月30日）とした経営成績であり、「調整後増減率」はこれに対する当第2四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和政策等を背景に円安・株高が進行し、景気は緩やかに回復しつつあるものの、米国の財政金融政策に対する不透明感や欧州債務問題、新興国経済の成長鈍化などの影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は229億6千3百万円（前年同一期間比22.3%増）、営業利益は18億7千1百万円（同100.9%増）、経常利益は20億6千2百万円（同116.0%増）、四半期純利益は17億3千7百万円（同130.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第2四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成25年12月期 (百万円)		(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成25年12月期 (百万円)	
化学品	14,946	18,922	26.6	569	1,490	161.7
化粧品	3,834	4,040	5.4	978	1,021	4.4
合計	18,780	22,963	22.3	1,548	2,512	62.3

①化学品事業

売上高は189億2千2百万円（同26.6%増）、セグメント利益は14億9千万円（同161.7%増）となりました。

海外では、韓国や中国などの東南アジア地区において繊維加工用薬剤の販売が好調に推移し、売上高は大きく伸張しました。国内では、繊維・染色業界は低迷しているものの、機能加工向け繊維加工用薬剤の集中的な販売活動が功を奏し、売上高は増加しました。

②化粧品事業

売上高は40億4千万円（同5.4%増）、セグメント利益は10億2千1百万円（同4.4%増）となりました。

美容業界においては顧客ニーズの分散が続く中、デミコスメティクス「ビオーブ」、イーラル株式会社「イーラル コク」などを核とした当社ナショナルブランドの安定成長に加え、サロンプライベートブランドの受託、山田製薬株式会社による相手先ブランド製造の受託などの多角化事業が伸長し、売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、5億6千6百万円増加し、376億6千2百万円となりました。現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加及び有形固定資産の減少等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、26億6千3百万円減少し、204億4千9百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、その他流動資産の減少、短期借入金の減少及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、32億3千万円増加し、172億1千3百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加及び少数株主持分の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.7%から39.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績や今後の経済状況等を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年11月7日）公表いたしました「平成25年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,781,311	4,003,267
受取手形及び売掛金	7,726,199	7,850,529
商品及び製品	2,794,958	2,647,172
仕掛品	595,878	761,288
原材料及び貯蔵品	2,573,518	2,734,701
その他	1,260,995	885,424
貸倒引当金	△41,216	△45,894
流動資産合計	17,691,645	18,836,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,796,996	6,858,438
機械装置及び運搬具（純額）	2,060,922	2,602,323
土地	6,274,720	5,805,193
その他（純額）	1,467,400	609,431
有形固定資産合計	16,600,039	15,875,385
無形固定資産		
のれん	359,630	320,681
その他	447,190	513,597
無形固定資産合計	806,820	834,279
投資その他の資産	1,997,421	2,116,749
固定資産合計	19,404,282	18,826,414
資産合計	37,095,928	37,662,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,436,728	3,722,532
短期借入金	7,742,195	6,795,391
未払法人税等	479,518	403,490
賞与引当金	490,000	488,000
その他	2,048,254	1,647,206
流動負債合計	14,196,697	13,056,621
固定負債		
長期借入金	5,810,083	4,186,614
退職給付引当金	2,217,109	2,277,280
その他	889,963	929,381
固定負債合計	8,917,156	7,393,276
負債合計	23,113,854	20,449,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	7,777,148	9,338,655
自己株式	△46,805	△48,379
株主資本合計	13,669,138	15,229,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,490	131,612
為替換算調整勘定	△1,640,823	△587,766
その他の包括利益累計額合計	△1,532,332	△456,153
少数株主持分	1,845,267	2,440,089
純資産合計	13,982,073	17,213,006
負債純資産合計	37,095,928	37,662,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,817,388	22,963,108
売上原価	10,398,292	15,280,272
売上総利益	5,419,096	7,682,836
販売費及び一般管理費	4,582,867	5,811,797
営業利益	836,229	1,871,038
営業外収益		
受取利息	6,313	14,153
受取配当金	15,120	19,271
持分法による投資利益	61,551	67,509
為替差益	—	115,899
その他	95,724	139,818
営業外収益合計	178,708	356,653
営業外費用		
支払利息	78,481	88,896
為替差損	39,257	—
売上割引	43,495	43,522
その他	21,915	32,371
営業外費用合計	183,150	164,790
経常利益	831,787	2,062,901
特別利益		
固定資産売却益	3,744	7,060
事業譲渡益	—	1,380,053
特別利益合計	3,744	1,387,114
特別損失		
固定資産除却損	3,051	2,106
固定資産売却損	203	710
投資有価証券評価損	1,665	886
減損損失	23,302	892,590
特別損失合計	28,223	896,294
税金等調整前四半期純利益	807,308	2,553,721
法人税等	123,111	541,707
少数株主損益調整前四半期純利益	684,197	2,012,014
少数株主利益	16,692	274,528
四半期純利益	667,505	1,737,485

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	684,197	2,012,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,271	23,121
為替換算調整勘定	245,965	1,306,508
その他の包括利益合計	216,694	1,329,629
四半期包括利益	900,891	3,341,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	825,070	2,813,663
少数株主に係る四半期包括利益	75,820	527,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	807,308	2,553,721
減価償却費	640,777	1,064,391
減損損失	23,302	892,590
事業譲渡損益(△は益)	—	△1,380,053
のれん償却額	174	39,356
投資有価証券評価損	1,665	886
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,658	58,976
賞与引当金の増減額(△は減少)	90,000	△2,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,144	△477
受取利息及び受取配当金	△21,433	△33,424
支払利息	78,481	88,896
為替差損益(△は益)	△12,502	16,642
持分法による投資損益(△は益)	△61,551	△67,509
固定資産処分損益(△は益)	△488	△4,243
売上債権の増減額(△は増加)	68,454	288,482
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,428	155,565
仕入債務の増減額(△は減少)	△215,763	112,846
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,157	45,997
その他	△50,241	198,095
小計	1,359,966	4,028,739
利息及び配当金の受取額	125,843	187,179
利息の支払額	△76,290	△87,373
法人税等の支払額	△181,081	△635,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,228,438	3,493,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,480	△153,672
定期預金の払戻による収入	79,480	153,672
有形固定資産の取得による支出	△1,098,474	△693,719
有形固定資産の売却による収入	4,500	47,384
投資有価証券の取得による支出	△7,262	△7,737
貸付金の回収による収入	—	4,335
事業譲渡による収入	—	1,380,053
その他	20,821	△171,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,080,415	559,233

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,195,976	16,801,925
短期借入金の返済による支出	△19,984,746	△18,242,548
長期借入れによる収入	138,800	—
長期借入金の返済による支出	△942,379	△1,430,182
少数株主からの払込みによる収入	—	65,417
配当金の支払額	△87,791	△176,093
少数株主への配当金の支払額	△37,994	△133,096
自己株式の売却による収入	412	—
自己株式の取得による支出	△620	△1,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,718,343	△3,116,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	105,059	267,776
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,465,261	1,204,106
現金及び現金同等物の期首残高	4,268,490	2,633,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,803,229	3,837,635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,063,521	3,753,866	15,817,388	15,817,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,287	11,406	13,693	13,693
計	12,065,808	3,765,273	15,831,082	15,831,082
セグメント利益	477,605	975,714	1,453,319	1,453,319

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,453,319
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	3,704
全社費用(注)	△628,921
四半期連結損益計算書の営業利益	836,229

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、23,302千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,922,606	4,040,501	22,963,108	22,963,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392	918	1,310	1,310
計	18,922,999	4,041,420	22,964,419	22,964,419
セグメント利益	1,490,818	1,021,938	2,512,757	2,512,757

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512,757
セグメント間取引消去	7,897
全社費用(注)	△649,615
四半期連結損益計算書の営業利益	1,871,038

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。また、「化学品」及び「化粧品」セグメントにおいて、売却を決定した支店に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を売却予定額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、それぞれ64,255千円、748,532千円であります。

この他、報告セグメントに配分されない全社資産である遊休資産に係る減損損失79,802千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。